

令和3年度総合教育会議の進め方 及び第1回会議の持ち方について

令和3年7月20日(火) 教育委員会

1. 令和3年度総合教育会議の進め方について

1 会議の目的

2 会議日程

3 協議事項の設定

4 会議ロードマップ

2. 第1回会議の持ち方について

1 学校業務改革の目的

2 今年度の取組み

3 協議の主としたい論点

4 本日の協議の流れ

1. 令和3年度総合教育会議の進め方について

1-1. 会議の目的

- 昨年度に続き、**教育大綱の実現**に向けた協議を展開し、**教育立市の更なる深化**を目指す

岐阜市教育大綱が掲げる**基本理念**及び**目指す姿の実現**に向けて、

昨年度までの**協議の軌跡**、具現化した**施策との連環**を意識しつつ、

市長と教育委員会による協議・調整のもと、**更なる教育施策の検討・推進**を図る

1. 次年度に取り組むべき施策を具体化し、**立案**する
2. 中長期的に取り組む施策の方向性・見通しを共有する



「こどもファースト」の理念に基づく**教育立市の更なる深化**

1-2. 会議日程

- 今年度、以下のとおり計6回の会議を開催予定、施策協議及び大綱に定める成果検証を行う

※ 時間は各回、13:30~15:30を予定

回	日程	場所	協議事項	招聘者による話題提供(予定)
第1回	7/20 (火)	庁舎大会議室	協議(学校・教職員) 各学校の共通課題の解決 (現状分析・課題認識)	<ul style="list-style-type: none"> ・国の学校教職員の働き方改革の全体像 ・今後の部活動のあり方の方向性を提示
第2回	8/30 (月)	庁舎大会議室	協議(学校・教職員) 各学校の共通課題の解決 (施策の方向性・概要検討)	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTを活用した業務改革の更なる視点 ・部活動の地域移行の先進事例紹介
第3回	10/13 (水)	メディアコスモス かんがえるスタジオ	協議(子ども) 子どもの学びの構造転換	<ul style="list-style-type: none"> ・探究的な学びを支える大人の問い・関わり方 ・これからの学びに応える、学校のかたち
第4回	11/16 (火)	メディアコスモス かんがえるスタジオ	協議(家庭・地域) 子どもを守り育てる教育力	<ul style="list-style-type: none"> ・サードプレイスの更なる役割・可能性の広がり ・地域の大人が魅せる、育むシビックプライド
第5回	12/24 (金)	メディアコスモス かんがえるスタジオ	協議(DX) 学びを創るDXの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTが常に隣り合う次代の学びの姿 (デジタルシティズンシップ教育への転換)
第6回	1/6 (木)	庁舎大会議室	施策推進状況に対する成果検証 年間総括(今年度協議成果)	<ul style="list-style-type: none"> ・「生き方の探究学習」カリキュラムの更なる発展・充実に繋がる、示唆・助言

1-3. 協議事項の設定(1)

● 昨年度の協議及び立案施策との繋がりを意識し、その充実・発展も含めた協議事項を設定

		R2年度	R3年度
<h2 style="text-align: center;">教育大綱</h2> <p><基本方針> 学校・家庭・地域の誰もが 生命の尊厳を理解し、 互いに心を開く対話を重ね、 一人ひとりが価値ある 大切な存在として互いに 認め合う教育を推進する</p>	目指す 子どもの姿	<div style="border: 1px solid #0056b3; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 生命の尊厳への理解 生き方の探究学習、いじめ条例改正 </div> <div style="border: 1px solid #0056b3; padding: 5px;"> 学校形態・学びの多様化 草潤中学校開校、小中一貫校推進 </div>	<div style="border: 1px solid #0056b3; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 子どもの学びの構造転換 子ども主体の探究的な学びを追求 令和の時代の学びを見据えた、 これからの学校のかたちを展望 </div>
	目指す 学校・教職員の姿	<div style="border: 1px solid #e67e22; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 学校の業務改革 学校の健康診断、学校支援人材の充実 </div> <div style="border: 1px solid #e67e22; padding: 5px;"> 教育委員会の機能強化 事業・業務の見直し、組織の再編 </div>	<div style="border: 1px solid #e67e22; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 各学校の共通課題の解決 DXの推進による学校業務改革 部活動をはじめとする、 学校業務についての協議・整理 </div>
	目指す 家庭・地域の姿	<div style="border: 1px solid #008000; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> CSの深化 総括コデ ネット配置、CSセミナーの実施 </div> <div style="border: 1px solid #008000; padding: 5px;"> サードプレイスの充実 青少年会館の機能・取組みの充実 </div>	<div style="border: 1px solid #008000; padding: 5px;"> 子どもを守り育てる教育力 CSの活動を支える人材確保、 他の地域組織との活動一体化検討 サードプレイスの量・質の拡充 (関係者のネットワーク構築) </div>

1-3. 協議事項の設定(2)

- DXを各施策の有効な**実施手法**と捉えて考えるとともに、ICTと常に隣り合うこれからの学びの姿について、特に協議する機会を設定

学校・教職員

各校共通課題の解決

- ・学校の健康診断による評価・分析をもとに、各校の共通課題を把握し、対応施策を協議

学びを創る“DX”の推進

- ・各主体の施策協議や具体的な取組み検討において、タブレットをはじめとするDX推進を中核的な実施手段と捉える

推進のための
時間の確保

子ども

学びの構造転換

(探究、学校・学びのかたち)

- ・探究的な学びの推進とともに、これからの多様な学校形態や学び方を協議

解決に向けた担い手
としても位置づけ

家庭・地域

子どもを守り育てる教育力 (CS・サードプレイス)

- ・コミスクやサードプレイスに期待される機能や役割を整理し、必要施策を協議

学外の探究
拠点として

1-3. 協議事項の設定(3)

● 第6回では、「生き方の探究学習」を有識者からの知見も交えながら、**重点的に成果検証**を実施

教育大綱

成果の検証

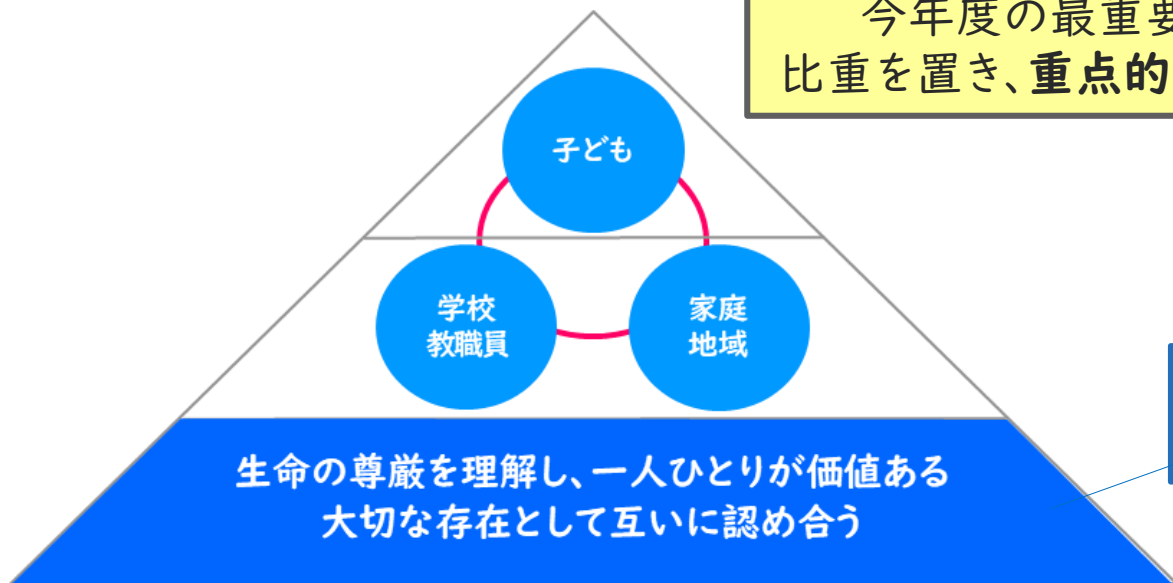
総合教育会議において、定期的に関連施策の成果を検証する



今年度の最重要施策「**生き方の探究学習**」に比重を置き、**重点的に成果検証・フィードバック**を実施

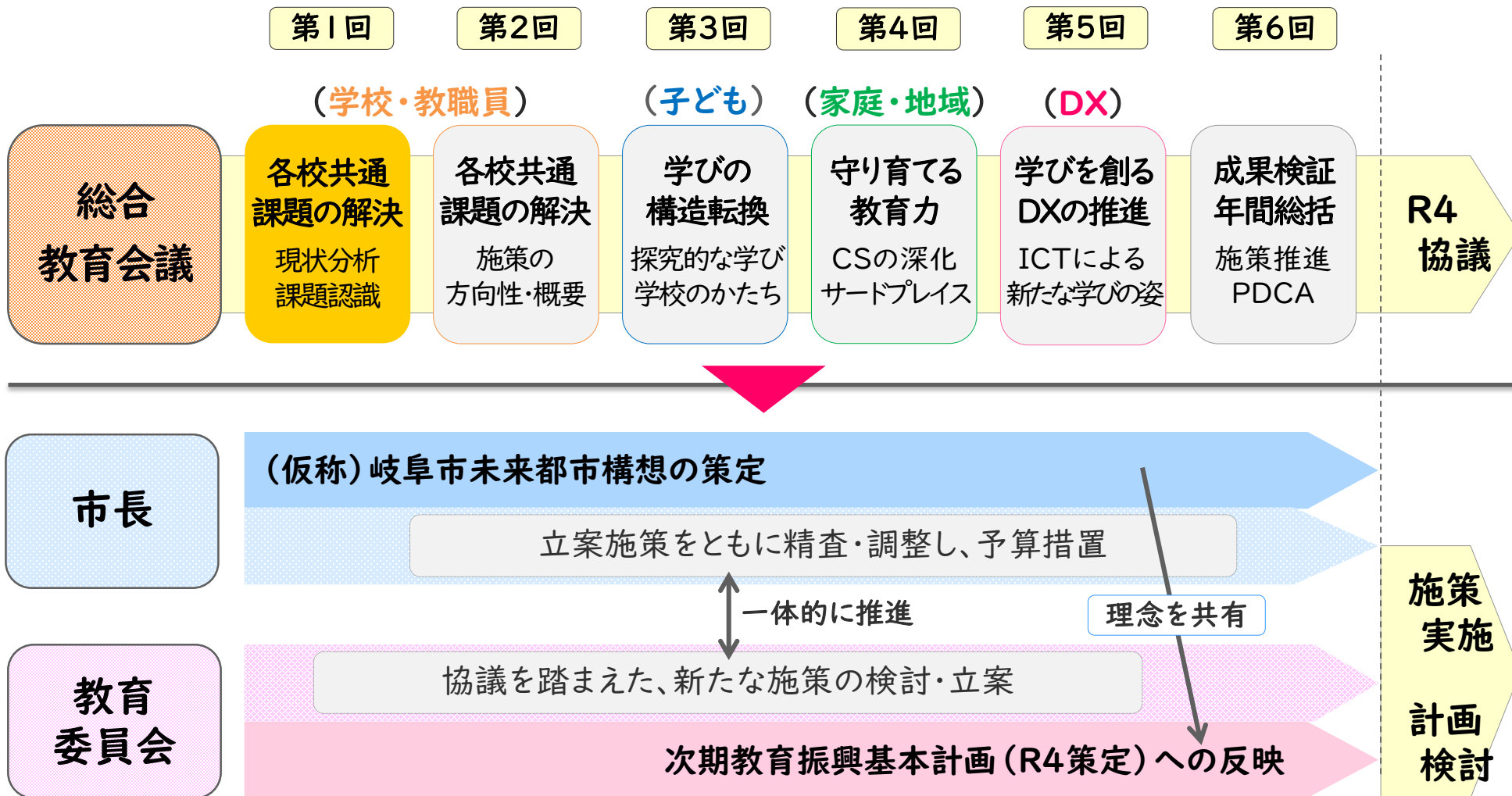


生命の尊厳への理解を培う
生き方の探究学習を実施



1-4. 会議ロードマップ

●協議の成果として、次年度の施策を具現化 及び 施策の中長期的な方向性・見通し を得る



2. 第1回会議の持ち方について

2-1. 学校業務改革の目的

- 学校業務改革の目的は、教職員が一人ひとりの子どもとより深く向き合うことにあることを再認識

学校業務改革の推進

学校は、教職員が一人ひとりの子どもとより深く向き合うことができるようになることで、

- ・子どもと教職員のお互いの信頼関係に支えられた、温かい対話と空間のある場所
- ・失敗を許容し挑戦を奨励する、学ぶ喜びに満ちた場所 となる。

教職員自身の自己研鑽などに資する時間を確保するとともに、
教職員同士が連携し、子どもたちにより深く向き合うことができるようにするため、
学校業務改革を推進する。

(岐阜市教育大綱 目指す姿のねらい)

時間外在校等時間の縮減

勤務時間内で、
子どもと深く向き合う時間

勤務時間内及び時間外の**双方**の場面で、
多忙解消に向けた**学校業務改革の推進**が必要

2-2. 今年度の取組み

- これまで進めてきた学校業務改革の取組みに加え、昨年度の総合教育会議での協議成果として、今年度は、以下の取組みを実施

「岐阜市 教職員サポートプラン2020」



3つの視点に基づく
多忙化解消に向けた取組を推進

「学校の健康診断」

勤怠データ及び業務負担アンケートによる
詳細な分析のもと、各学校毎に多忙化要因、
効果的なアクションを提案



ARROWS

日本教員多忙化対策委員会

令和3年度における新たな取組み

- ・教職員の負担軽減のための効果的な人員配置
スクール・サポート・スタッフ(教員業務支援員)を全学校に配置
- ・1人1台タブレットを活かしたDXの推進
 - ・タブレットを活用した業務の軽減・効率化、事業リニューアル
 - ・授業支援ソフトの導入によるタブレットの更なる機能性向上
 - ・(仮称)ICT教育推進計画の策定
- ・コロナ前に逆戻りしない、行事・事業・業務の見直し
 - ・学校の健康診断による、各校での業務改善サイクルの実施
 - ・教育委員会の率先した事務事業の見直し
- ・教職員の研修の見直し・拡充
 - ・経年研修の見直し、オンライン研修の推進
 - ・マネジメント意識、ICTスキル等の基盤能力の育成強化
- ・教育委員会の組織としての学校支援体制の強化
 - ・「学校安全支援課」「学校給食課」の新設
 - ・学校指導課内に「デジタル化推進係」を新設

2-3. 協議の主としたい論点

- 学校業務改革を更に前進させるため、「DXの更なる推進」「学校部活動のあり方」を主たる論点とする

これまでの学校業務改革の推進により、着実に改善は図られつつあるが、
未だ学校教職員の勤務実態は、厳しい状況

各学校毎で行う個々での業務改革については、一定程度の検討を尽くし、
改善の取組みに着手する段階

学校業務改革をより一層推進していくため、次なる取組みに向かう視点として、
各学校に共通する課題に対し、教育委員会を中心にいかに取り組んでいくかを検討

教職員の抱える多忙、多忙感の解消のため…

多忙

業務量(作業量)が過多である
⇒ 業務量(作業量)の削減・効率化

多忙感

不慣れな業務、学校だけで対応する現状
⇒ 業務支援人材の登用、仕組みの整備

まず重点的に協議、取り組むべき2つの論点を設定

【DXの更なる推進による業務負担の軽減】

タブレット、校務支援システムの更なる活用を検討



【地域とともにある学校部活動のあり方】

休日部活動の段階的な地域移行も含め、広く検討

2-4. 本日の協議の流れ

- 招聘者及び事務局からの説明を踏まえ、主に以下2点の事項について、ご協議いただきたい

協議の流れ

<p>(1) 招聘者説明</p>	<ul style="list-style-type: none">●【総論】国における、学校教職員の働き方改革全体像について●【各論】学校部活動の今とこれからについて(展望) 
<p>(2) 事務局説明</p>	<ul style="list-style-type: none">●本市の学校業務改革の推進状況について●これらの現状把握を踏まえた、課題の共有について 
<p>(3) 意見交換</p>	<p>ご協議いただきたいこと</p> <ol style="list-style-type: none">1. <u>DXの推進・部活動のあり方</u>を論点とした<u>学校業務改革</u>に向けて、教育委員会が<u>優先的に取り組むべき、解消すべき課題点</u>について2. その他の<u>各学校の共通課題の解決</u>における<u>ご意見・ご提案</u>